

抗がん剤 周囲への影響

質問 抗がん剤治療を受けるにあたり、医師から「治療後に家族に薬が付かないように注意してください」と言われました。どのような注意が必要なのでしょう。



吉岡 俊彦
徳島大学病院
薬剤部薬剤師

回答 抗がん剤治療を行った後、家族と部屋を分けたり、物理的に距離を置いたりする必要は一切ありません。同じ部屋で過ごし会話や日常的なスキンシップを取っても薬の影響は及びません。

注意すべきなのは離れる距離ではなく、排せつ物や嘔吐物の取り扱いと投与後の注意期間です。多くの抗がん剤は投与終了から約48時間で大部分が体内から排せつされますが、この期間内の排せつ物や嘔吐物に微量の薬剤の成分が含まれます。

こうした成分に家族が触れないための、日常生活における具体的な基本ルールは次の通りです。トイレは飛散防止のために男性も座って排尿し、ふたを閉めてから水を2回流してください。

投与後48時間は注意期間

排せつ物や嘔吐物で汚れている場合

洗濯:1回目(予洗い)

患者さんの洗濯物



普段使いの洗剤で問題ありません。

洗濯:2回目

予洗いした患者さんの洗濯物



ご家族などの洗濯物



排せつ物などの取り扱い

排せつ物や嘔吐物が床などに飛散した場合は、ビニール手袋を着用し清掃をします。範囲が広がらないように外側から内側に拭き取り、水や中性洗剤を染み込ませたトイレットペーパーで拭いてください。手袋は2重にしたビニール袋に入れて

廃棄しましょう。トイレットペーパーはそのままトイレに流して構いません。入浴は家族と同じ湯を使っても構いません。不



がん何でもクイズ

がんの「三大療法」に含まれないものはどれでしょう。

- ①手術療法 ②温熱療法 ③薬物療法
行こうよ！がん検診

内服薬がある場合は誤飲防止のため子どもの手の届かない高い場所に保管しましょう。薬剤の飛散を防ぐため、錠剤を粉碎したり、カプセルの中身を取り出したりしないでください。

適切な対策を行えば、家族と一緒に安心して普段通りの生活を送ることができます。過度な恐怖や不安はありません。

安がある場合は、体を洗ってから湯船に入るなどの工夫をすると安心です。食事の際は食べ物の口移しや箸の使い回しを避け、洗剤で洗えば食器も共用できます。

衣服の洗濯は目立った汚れがなければ家族のものと一緒に洗うことができます。排せつ物や嘔吐物で汚れた場合は2回洗濯を行ってください。1回目(予洗い)は患者の汚れた洗濯物のみで洗い、2回目は家族のと一緒に洗って問題ありません。

がんに関する質問は
徳島がん対策センター
電話 088 (634) 6442
(平日午前8時半から午後5時まで) へ。

